城ケ丘

題字：6年児童



十日町小学校HPは
こちらからどうぞ！

十日町小学校だより　令和８年 10 月 30 日　No.9

文責：校長

なぜ勉強するの？



こどもから「なぜ勉強しなければいけないの？」と問われたとき、何と答えますか？「将来困らないため」「よい仕事に就くため」と答えて、「あれ？これでいいのかな」と立ち止まったことはありませんか。この答えも一つの理由です。しかし、学ぶ目的はそれだけではありません。これからの社会は、変化のスピードが速く、正解のない課題に向き合う場面が増えていきます。私たち大人がこどもの頃の状況は、もはや比較の対象にはなりません。



そのような社会を生きるこどもに必要なのは、知識だけではなく、知識を活用して考え、判断し、多様な人々と協働しながら課題を解決していく力です。学校で学ぶ教科の内容は、そんな力を身に付けるための土台となります。

国語は考えを言葉で表現する力を育みます。算数・数学は論理的に考える力を育てます。理科や社会は物事を多角的に見る視点を養います。音楽や図画工作、体育なども含め、学校での学びはこどもの人格形成に重要な役割を担っています。

また、学習を通して身に付くのは知識だけではありません。分からないことに粘り強く取り組む力、仲間と協力する力、失敗から学ぶ姿勢など、生涯に渡って必要となる資質・能力も育まれます。十日町小学校の教育活動で重視していることでもあります。

しかし、新潟県の学力に関する現状は危機的といえます。当校も例外ではありません。

・　文部科学省による令和７年度英語教育実施状況調査において、中学３年生が英検３級※1相当以上である割合が 37.4%であった（全国ワースト２位）

・　令和８年度全国学力・学習状況調査（以下、全国学調）において、小（国語・算数）、中（国語・数学・英語）のいずれも全国平均を下回った

勉強とは、単に知識を増やす活動ではなく、自らの人生を主体的に切り拓く力を身に付ける営みです。こどもが学校教育を終え、社会で活躍するときの姿を文部科学省が「自らの人生を舵取りすることができる民主的で持続可能な社会の創り手」と表しているのはこういう理由からでしょう。そのためには、確かな学力を身に付けることが必須です。勉強しているつもりでも、分かったつもりでも、「獲得した知識を活用する」「問題解決のために必要な努力を惜しまない」という行動が身に付いていなければ「確かな学力が備わっている」とはならないのではないでしょうか。こどもが将来どのような道を歩むとしても、自分で考え、自分で判断し、よりよい社会の創り手となっていけるよう、学校と家庭はこどもの学びを支えていく存在です。学校だけでも家庭だけでも不十分なのです。

今年度の全国学調の結果における新潟県の分析※3の一部を紹介します。



・　朝食を毎日食べる習慣は全国平均を大きく上回っており、一日の活動や学習を始めるためのエネルギーが家庭でしっかりと確保されている。

・　小学生の３分の２が、毎日２時間以上スクリーンタイム※2に費やしている。「２時間未満または持っていない」という児童の平均正答率は、全ての教科で全国平均を上回っている。長時間のメディア接触が、家庭学習時間や読書時間を圧迫し、低い正答率につながっている直接的な要因と考えられる。



・　家庭にある本が 100 冊以上あると答えた割合が全国よりも低く、日常的に活字や本に親しむ環境・習慣が全国よりも低い傾向にある。これが、記述力・読解力・情

報の扱い方の課題に影響を与えている可能性がある。

・ 家庭学習時間が2時間以上の割合が全国平均の半分しかなく、この傾向は学年が上がるにつれて家庭学習を長時間継続する習慣が不足している現状を表している。



※1　新潟県はテレビ・PC・スマホ等の画面を見ている時間を指す言葉として用いています。

※2　日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定の級の一つで、中学卒業程度の英語力を示しています。

※3　新潟県教育委員会 HP もご覧になってください。

家庭で「やれること」、新潟県の分析結果に基づいた論調なら、家庭が「やるべきこと」が見えてきました。これこそ、十日町小学校 PTA が推奨している「自己コントロール」そのものです。

当然、学校で果たすべき責務もあります。新潟県が県内の全小中学校に提示した授業改善の視点がこちらです。

・ 授業観の転換：「楽しい授業」から「楽しくて力をつける授業」へ。対話だけで終わらず、一人一人が思考を深め、記述力を高める授業を実践する

・ 学習体力の育成：授業での学びを個人の学びへとつなげ、力を確かなものにする

・ 上位層育成の仕組み化：探究的課題や挑戦的な学びを導入し、伸びる子をさらに伸ばす

・ PDCA による授業改善：データを活用し、計画・実行・検証・改善を図る



授業改善は、こどもが「敷かれたレールを進むのではなく、自分で選び多様な人々と支え合って社会をつくる人」＝「自立した人」＝「共生社会を支える人」となるために必要な学びを獲得する重要な手段です。

「勉強はやりたい者がやればいい」「勉強をしなくても生きていける」「勉強よりも大切なことがある」という声が聞こえてきそうですが、「勉強してきてよかったな」「勉強って楽しいな」と思えるこどもを育成すること、すなわち、知的好奇心を掻き立てることは学校に課せられた役割だと思います。

「確かな学力の育成」はそのための目的です。「全国学調の数値を全国平均並みに引き上げる」ことは目的達成のための本県の目標です。「全国学調の数値に執着するのか」という話ではなく、数値を上げることは、目的達成のための一つの客観的な指針と言えます。愚直に頑張ります。

11 月 の 予 定

日	曜	内　容	日	曜	内　容
2	月	城ケ丘持久走大会	16	月	家庭学習強調ウイーク(～22)
3	火	祝　文化の日	17	火	3年校外学習(消防署)
4	水	6年校外学習(いのち・愛・人権展見学)	18	水	2学期個別懇談①(希望者)、全校給食後下校
5	木	2年校外学習(飯山市)、6年ほうかご寺子屋塾	19	木	2学期個別懇談②(希望者)、全校給食後下校
6	金	城ケ丘持久走大会予備日	20	金	全校漢字テスト
7	土	PTA環境整備作業	23	月	祝　勤労感謝の日
10	火	ころころりん、6年ほうかご寺子屋塾、学校諸費振替日	24	火	ころころりん、6年ほうかご寺子屋塾・閉塾式
11	水	4年校外学習(新潟市)、6年親子レク	25	水	十日町小中交流会
12	木	4年6限なし、5年校外学習(精米センター)	26	木	4年6限なし
15	日	はぐくみのまちフォーラム(段十ろう)13:20～15:40、家読の日	27	金	全校算数テスト、ふれあいPTA学習会・茶話会

11月は、18日(水)と19日(木)の2日間が4限・給食後下校日です。